

第5 教育職員免許状の取得

I. 教員免許状の種類・教科

所定の単位を修得することにより、次表のとおり教育職員免許状授与の所要資格を取得することができます。

専 攻	免許状の種類・教科
音楽文化専攻	中学校教諭 1・2種免許状（音楽） 高等学校教諭 1種免許状（音楽）
美術文化専攻	中学校教諭 1・2種免許状（美術） 高等学校教諭 1種免許状（美術） 高等学校教諭 1種免許状（工芸）
スポーツ文化専攻	中学校教諭 1・2種免許状（保健体育） 高等学校教諭 1種免許状（保健体育）

II. 教員免許状の取得に必要な授業科目及び修得単位数

教員免許状の取得に必要な授業科目及び修得単位数は、別表「教育職員免許状取得科目対応表」に示すとおりです。この表に定めるところにより単位を修得してください。

本対応表は、教育職員免許法及び同施行規則に定める教員免許状の取得に必要な科目・単位数に対応する岩見沢校で開設する授業科目・修得単位数を示すものです。

なお、岩見沢校での各授業科目の開設形態・単位数の設定等の関係から、教育職員免許法に定める単位数を超えて修得しなければならないものがあるので注意してください。

免許状の種類 免許区分	中 学 校		高 等 学 校	
	教科に関する科目	音 楽 P. 46 美 術 P. 47 保健体育 P. 49	音 楽 P. 46 美 術 P. 47 工 芸 P. 48 保健体育 P. 49	
教職に関する科目	P. 50			
大学が独自に設定する科目	P. 51			

III. 教育実践力向上CBT検定

教育実践力向上 CBT（Computer Based Testing）検定は、教育実習をより実効あるものとするため、基礎的な知識の理解や心構えを客観的に測定し、教育実習に向けた準備をサポートする目的で実施するものです。

教育実践力向上 CBT 検定は、「教育実習前支援アンケート」と「教育実習前検定」の2つから構成され、教育実習の履修要件となっています。実施日程等については、別途指示がありますので、指示に従って受検してください。

IV. 教育実習について

免許状を取得するためには、取得しようとする免許状に対応した教育実習を履修しなければなりません。教育実習の履修については、次のとおりです。

(1) 教育実習の種類

免許状の種類	3年次		4年次
中学校・高等学校教諭免許状	教育実習事前 1	教育実習（中学校） 4	
高等学校教諭免許状	事後指導（中等）		教育実習（高等学校） 2

(2) 履修要件

実習種類	履修要件
中学校	2年次終了時までに60単位以上修得済みであること。 ただし、教職論2単位、教育の基礎と理念2単位、発達と学習2単位、その他の教職科目2単位、中等教科教育法1科目2単位を含むこと。 教育実践力向上CBTを受験し、一定の要件を満たすこと。
高等学校	3年次終了時までに次の6科目12単位を含め90単位以上修得済みであること。 教職論2単位、教育の基礎と理念2単位、発達と学習2単位、教育の制度と社会2単位、学校経営と学級経営2単位、教育課程と教育方法2単位、道徳の理論と指導法2単位、特別活動・総合的な学習の理論と指導法2単位、生徒指導・進路指導の理論と方法2単位のうちから5科目10単位、中等教科教育法1科目2単位。

また、希望する教育実習の教科によって、次の内容を履修要件に追加します。

音楽：ソルフェージュⅠ，合唱Ⅰ，邦楽実習の単位を修得済みであること。

美術：絵画演習Ⅰ，彫刻演習Ⅰ，デザイン演習Ⅰ，工芸演習Ⅰ，美術史・美術理論Ⅰの5科目10単位を修得済みであること。

保健体育：免許科目「体育実技」から5単位、「体育実技」以外から6単位を修得済みであること。内訳は次のとおりとする。

「体育実技」

必修科目（陸上競技，器械運動，水泳，ソフトボール）のうちから2科目2単位，及び必修以外から3科目3単位

「体育実技以外」

スポーツ運動学，スポーツ心理学，生理学・運動生理学のうちから2科目4単位，中等保健体育科教育法Ⅱ，学校保健のうちから1科目2単位，及び衛生学は履修中または履修済みであること。

なお、高等学校1種免許状（工芸）の取得を希望する学生は、教育実習時の教科は美術で受講してください。

※上記の他、別途履修要件が追加・変更となる可能性があるため、履修希望の場合は、掲示等を見落とさないよう注意すること。

V. 介護等体験について

中学校教諭免許状の授与を受けるにあたっては、所定の単位を修得する他に、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」により、障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を目的とした特別支援学校及び社会福祉施設等における7日間（特別支援学校：2日間、社会福祉施設：5日間）の介護等の体験を行うことが必要です。

本校では2年次に行いますが、申し込み方法等の詳細については掲示でお知らせします。

教育職員免許状取得科目対応表

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 中学校・高等学校

① 音楽（中・高）

免許科目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免		
		法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	
ソルフェージュ	※ソルフェージュⅠ 1 ソルフェージュⅡ～Ⅳ 各1		1		1		1	
声乐（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声乐Ⅰ～Ⅵ 各2 副科声乐Ⅰ～Ⅱ 各1	}	1	}	1	}	1	
	※合唱Ⅰ 1 合唱Ⅱ～Ⅳ 各1		1		1		1	
器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	合奏Ⅰ～Ⅳ 各1	}	1	}	1	}	1	
	器楽Ⅰ（ピアノ）～Ⅵ 各2		}		1		}	1
	器楽Ⅰ（副科ピアノ） 1				1			1
	器楽Ⅰ（管弦打楽器）～Ⅵ 各2		}		1		}	1
	器楽Ⅰ（副科管弦打楽器）～Ⅱ 各1				1			1
	伴奏法 1		}		1		}	1
	副科ピアノ伴奏演習 1				1			1
※邦楽実習 1	1	1	1	1				
指揮法	指揮法Ⅰ～Ⅱ 各1		1		1		1	
音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族音楽を含む。）	※音楽史基礎 2	}	2	}	2	}	2	
	※音楽理論Ⅰ 2		2		2		2	
	音楽史 2		}		}		}	}
	楽曲分析Ⅰ～Ⅱ 各2							
	音楽理論Ⅱ～Ⅳ 各2		}		}		}	}
	作曲Ⅰ～Ⅵ 各2							
	作曲理論演習Ⅰ～Ⅱ 各1		}		}		}	}
作曲家・作品研究 2								
日本音楽 2								
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等音楽科教育法Ⅰ 2	}	2	}	2	}	2	
	中等音楽科教育法Ⅱ 2				2		2	
	中等音楽科教育法Ⅲ 2				2			
	中等音楽科教育法Ⅳ 2				2			
計		12	14	28	28	24	24	

※ソルフェージュⅠ、合唱Ⅰ、邦楽実習、音楽史基礎、音楽理論Ⅰは必修の授業科目なので注意してください。

② 美術（中・高）

免 許 科 目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
		法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位
絵画（映像メディア表現を含む。）	※ <u>絵画演習Ⅰ</u>		2		2		2
	絵画演習Ⅱ						
	絵画Ⅰ						
	絵画Ⅱ						
	絵画Ⅲ						
彫刻	※ <u>彫刻演習Ⅰ</u>		2		2		2
	彫刻演習Ⅱ						
	彫刻Ⅰ						
	彫刻Ⅱ						
デザイン（映像メディア表現を含む。）	※ <u>デザイン演習Ⅰ</u>		2		2		2
	デザインⅠ						
	デザインⅡ						
	デザインⅢ						
	デザインⅣ						
	デザインⅤ						
工芸	※ <u>工芸演習Ⅰ</u>		2		2		※高等学校（美術）には使用できません。
	工芸演習Ⅱ						
	工芸演習Ⅲ		10		20		
	工芸演習Ⅳ						
美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	※ <u>美術史・美術理論Ⅰ</u>		2		2		2
	油彩画理論						20
	現代美術・平面表現理論	12		28		24	
	彫塑理論						
	現代美術・空間表現理論						
	プロダクトデザイン理論						
	日本画理論						
	金工理論						
	木工理論						
	メディアコンテンツ理論						
	映像理論						
	アニメーション理論						
	美術史・美術理論Ⅱ						
	美術史						
	美術文化基礎						
	美術・デザイン文化基礎						
	書画・工芸文化基礎						
	メディア・タイムアート文化基礎						
	芸術学概論						
	芸術学Ⅰ～Ⅲ		各2				
現代美術論・美術館学概論		2					
現代美術論・美術館学Ⅰ～Ⅲ		各2					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等美術科教育法Ⅰ				2		
	中等美術科教育法Ⅱ				2		
	中等美術科教育法Ⅲ		2		2		2
	中等美術科教育法Ⅳ				2		2
計		12	12	28	28	24	24

※絵画演習Ⅰ、彫刻演習Ⅰ、デザイン演習Ⅰ、工芸演習Ⅰ、美術史・美術理論Ⅰは必修の授業科目なので注意してください。

③ 工 芸 (高)

免 許 科 目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	高1種免	
		法定単位	必要単位
図法及び製図	※図法および製図 2		2
デザイン	※デザイン演習 I 2		2
	デザイン I 2		
	デザイン II 2		
	デザイン III 2		
	デザイン IV 2		
	デザイン V 2		
	デザイン VI 2		
工芸制作 (プロダクト制作を含む。)	※工芸演習 I 2		2
	工芸演習 II 2		
	工芸演習 III 2		
	工芸演習 IV 2		
工芸理論, デザイン理論及び美術史 (鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	※美術史・美術理論 I 2	24	2
	油彩画理論 2		20
	現代美術・平面表現理論 2		
	彫塑理論 2		
	現代美術・空間表現理論 2		
	プロダクトデザイン理論 2		
	日本画理論 2		
	金工理論 2		
	木工理論 2		
	メディアコンテンツ理論 2		
	映像理論 2		
	アニメーション理論 2		
	美術史・美術理論 II 2		
	美術史 2		
	美術文化基礎 2		
	美術・デザイン文化基礎 2		
	書画・工芸文化基礎 2		
	メディア・タイムアート文化基礎 2		
	芸術学概論 2		
	芸術学 I～III 各 2		
現代美術論・美術館学概論 2			
現代美術論・美術館学 I～III 各 2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等工芸科教育法 I 2		2
	中等工芸科教育法 II 2		2
計		24	24

※図法および製図、デザイン演習 I、工芸演習 I、美術史・美術理論 I は必修の授業科目なので注意してください。

④ 保健体育（中・高）

免 許 科 目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
		法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位
体育実技	※陸上競技	1	1		1		1
	※器械運動	1	1		1		1
	テニス	1	1		1		1
	バレーボール	1					
	バドミントン	1					
	サッカー	1	1		1		1
	バスケットボール	1					
	※ソフトボール	1	1		1		1
	剣道	1	1		1		1
	柔道	1					
	アルペンスキー	1	1		1		1
	クロスカントリースキー	1					
	自然体験活動	1					
	※水泳	1	1		1		1
	エアロビクス	1	2		2		2
	ダンス	1					
	野山のフィールド経験	1	12		20	24	20
	野山のフィールド経験実習Ⅰ～Ⅱ	各1					
	水辺のフィールド経験	1					
	水辺のフィールド経験実習Ⅰ～Ⅱ	各1					
冬のフィールド経験実習Ⅰ	1						
「体育原理, 体育心理学, 体育経営学, 体育社会学」及び運動学（運動方法学を含む。）	※スポーツ運動学	2	2	2	2	2	
	スポーツ社会学	2					
生理学（運動生理学を含む。）	※スポーツ心理学	2	2	2	2	2	
	※生理学・運動生理学	2	2	2	2	2	
	体力学	2					
	運動生理生化学	2					
健康体力医科学	2						
衛生学及び公衆衛生学	※衛生学	2	2	2	2	2	
学校保健（小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。）	※学校保健	2	2	2	2	2	
	リスクマネジメント	2					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等保健体育科教育法Ⅰ	2	2	2	2	2	
	中等保健体育科教育法Ⅱ	2		2	2		
	中等保健体育科教育法Ⅲ	2		2			
	中等保健体育科教育法Ⅳ	2		2			
計		12	22	28	28	24	24

※陸上競技、器械運動、ソフトボール、水泳、スポーツ運動学、スポーツ心理学、生理学・運動生理学、衛生学、学校保健は必修の授業科目なので注意してください。

2 教職に関する科目

免許科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
			法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の基礎と理念 2	6	2	10	2	10	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）	教職論 2		2		2		2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	※教育の制度・経営と社会 2 学校経営と学級経営 2		2		2		2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と学習 2		2		2		2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育 2		2		2		2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程と教育方法（ICT活用含む） 2		(2)		(2)		(2)
相の道徳、等導、に法総関及合すび的る生な科徒学目指導の時教間育等	道徳の理論と指導法	道徳の理論と指導法 2	6	2	10	2	8	
	総合的な探求の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法 2		2		2		2
	特別活動の指導法							
	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用を含む。）	教育課程と教育方法（ICT活用含む） 2		2		2		2
	生徒指導の理論及び方法・進路指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と方法 2		2		2		2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法 2		2		2		2
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と方法 2	(2)	(2)	(2)				
関教す育る実科践目に	教育実習	※ 学生便覧（P. 42）参照	5	5	5	5	3	3
	学校体験活動							
	教職実践演習	教職実践演習（中・高） 2	2	2	2	2	2	2
計			19	27	27	27	23	23

注）中学校又は高等学校の「各教科の指導法」は、授与を受けようとする免許状の校種・教科に対応した科目の単位を修得すること。
 ※教育の制度・経営と社会は必修の授業なので注意してください。

3 大学が独自に設定する科目

免 許 科 目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免		
		法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	
教科に関する科目	最低修得単位を越えて取得した「教科に関する科目」の単位	4	4	4	4	12	12	
教職に関する科目	最低修得単位を越えて取得した「教職に関する科目」の単位※							
大学が加える教職に関する 科目に準ずる科目	音楽教育概論 音楽教育Ⅰ～Ⅳ 音楽教育実習Ⅰ～Ⅲ 音楽教育特講 音楽文化概論							中学校・高等学校（音楽）
	美術指導概論 美術指導Ⅰ～Ⅲ 美術指導実習Ⅰ～Ⅱ							
	スポーツ指導演習（チームスポーツ） スポーツ指導演習（個人スポーツ） スポーツ指導演習（多世代・アダブテッド）	中学校・高等学校（保健体育）						
	道徳の理論と指導法	高等学校 （音楽、美術、工芸、保健体 育）						
計		4	4	4	4	12	12	

※中学校・高等学校の教員免許をどちらも取得する際、教育実習（中学校）の5単位（事前事後指導1単位、教育実習4単位）をもって、高等学校免許に必要な3単位（事前事後指導1単位、教育実習2単位）を取得したものとしますが、残り2単位を高等学校教員免許における教科教職に関する科目12単位に含めることはできません。

また、中学校の各教科の指導法（中等〇〇科教育法Ⅰ～Ⅳ）についても高等学校教員免許における教科教職に関する科目12単位に含めることはできません。

4 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則 に規定する科目	岩見沢校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
		法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
日本国憲法	日本国憲法	2	2	2	2	2	2
体育	体育Ⅰ	2	1	2	1	2	1
	体育Ⅱ		1		1		1
外国語コミュニケーション	外国語コミュニケーション（英語）Ⅰ	2	1	2	1	2	1
	外国語コミュニケーション（英語）Ⅱ		1		1		1
情報機器の操作	情報機器の操作	2	2	2	2	2	2
計		8	8	8	8	8	8